

## 償還 運用報告書（全体版）

第30期<償還日2025年9月25日>

### 新光グローバル・ハイイールド債券ファンド マネープールファンド

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／国内／債券
信託期間	2010年10月8日から2025年9月25日までです。
運用方針	安定した収益の確保を目指した運用を行います。
主要投資対象	新光グローバル・ハイイールド債券ファンド マネーブールファンド 証券。
運用方法	国内短期公社債マザーファンドへの投資を通じて主として本邦通貨建ての短期公社債に投資し、安定した収益の確保を目指した運用を行います。
組入制限	新光グローバル・ハイイールド債券ファンド マネーブールファンドの 国内短期公社債 マザーファンドの 組入上限比率 制限なし。
分配方針	分配対象額の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の利子・配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。 分配金額は、委託者が基準価額水準や市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないことがあります。 留保益の運用については、特に制限を設けず、運用の基本方針に基づいた運用を行います。

<運用報告書に関するお問い合わせ先>

コールセンター：0120-104-694

受付時間：営業日の午前9時から午後5時まで

お客様のお取引内容につきましては、購入された販売会社にお問い合わせください。

受益者の皆さまへ

毎々格別のお引立てに預かり厚くお礼申し上げます。

さて、「新光グローバル・ハイイールド債券ファンドマネーブールファンド」は、この度、信託期間を満了し、償還の運びとなりました。

ここに、運用経過と償還内容をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

アセットマネジメントOne株式会社

東京都千代田区丸の内1-8-2

<https://www.am-one.co.jp/>

# 新光グローバル・ハイイールド債券ファンドマネープールファンド

## ■最近5期の運用実績

決算期	基準価額 (分配落)	基 準 価 額			債券組入率 比	債券先物率 比	純資産額
		税分	込配 み金	期騰 落			
26期 (2023年9月25日)	円 9,959	円 0		% △0.0	% 55.3	% —	百万円 0.995874
27期 (2024年3月25日)	9,957	0		△0.0	33.2	—	1
28期 (2024年9月25日)	9,958	0		0.0	54.0	—	0.995772
29期 (2025年3月25日)	9,962	0		0.0	75.6	—	0.996159
(償還日) 2025年9月25日	(償還価額) 9,963.12	0		0.0	—	—	0.996312

(注1) 当ファンドはマザーファンドを組入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注2) 「債券先物比率」は、買建比率－売建比率です。

(注3) 当ファンドのコンセプトに適した指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を定めておりません。

(注4) △(白三角)はマイナスを意味しています(以下同じ)。

## ■当期中の基準価額の推移

年月日	基準価額 騰落率	基 準 価 額		債券組入率 比	債券先物率 比
		騰	落		
(期首) 2025年3月25日	円 9,962		% —	% 75.6	% —
3月末	9,961		△0.0	75.6	—
4月末	9,961		△0.0	75.6	—
5月末	9,962		0.0	75.7	—
6月末	9,962		0.0	75.7	—
7月末	9,962		0.0	75.7	—
8月末	9,963		0.0	75.7	—
(償還日) 2025年9月25日	(償還価額) 9,963.12		0.0	—	—

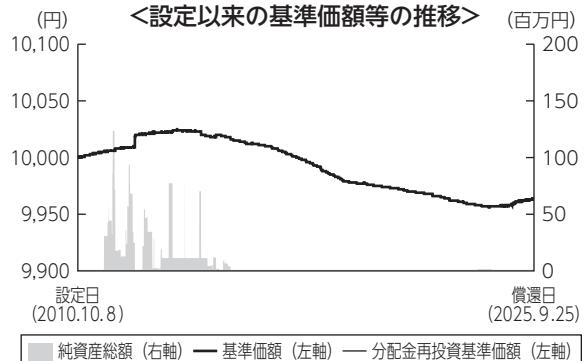
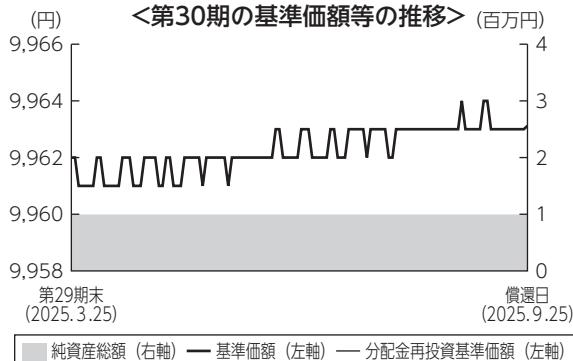
(注1) 謄落率は期首比です。

(注2) 当ファンドはマザーファンドを組入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注3) 「債券先物比率」は、買建比率－売建比率です。

## ■設定以来の運用経過（2010年10月8日から2025年9月25日まで）

### 基準価額等の推移



### 基準価額の主な変動要因

#### 当期

当ファンドは、国内短期公社債マザーファンド（以下、「マザーファンド」といいます。）を通じて、円建ての短期公社債への実質的な投資による安定した収益の確保を目指しました。当期間における基準価額（分配金再投資ベース）は、日銀のマイナス金利政策解除などの影響で、運用利回りが上昇したことから上昇しました。

#### 設定来

当ファンドは、国内短期公社債マザーファンド（以下、「マザーファンド」といいます。）を通じて、円建ての短期公社債への実質的な投資による安定した収益の確保を目指しました。当期間における基準価額（分配金再投資ベース）は、日銀の量的・質的金融緩和政策やマイナス金利政策などの影響で、運用利回りが低下した期間が長かったため、下落しました。

## 設定来の投資環境

国内短期金融市場では、3ヵ月国庫短期証券利回りは0.1%程度で始まりました。その後、2013年4月に日銀による量的・質的金融緩和政策が導入され同利回りは低下傾向となりました。2016年1月にはマイナス金利政策が導入され、同利回りは一段と低下しマイナス圏で推移しましたが、2024年3月にマイナス金利政策が解除されたことを受けて、同利回りはプラス圏となりました。その後も段階的に政策金利が引き上げられたことから同利回りは徐々に上昇しました。

## 設定来のポートフォリオについて

### ●当ファンド

引き続き、マザーファンドの組み入れを高位に維持しました。

### ●国内短期公社債マザーファンド

残存期間の短い公社債などで運用を行いました。

このたび償還を迎えるにあたりまして、当ファンドへのご愛顧に心より感謝申し上げますとともに、今後とも一層のお引立てを賜りますようお願い申し上げます。

## ■ 1万口当たりの費用明細

項目	第30期		項目の概要	
	(2025年3月26日 ～2025年9月25日)			
	金額	比率		
(a) 信託報酬	17円	0.166%	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は9,962円です。	
(投信会社)	( 6)	(0.055)	投信会社分は、信託財産の運用、運用報告書等各種書類の作成、基準価額の算出等の対価	
(販売会社)	( 6)	(0.055)	販売会社分は、購入後の情報提供、交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価	
(受託会社)	( 6)	(0.055)	受託会社分は、運用財産の保管・管理、投信会社からの運用指図の実行等の対価	
合計	17	0.166		

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

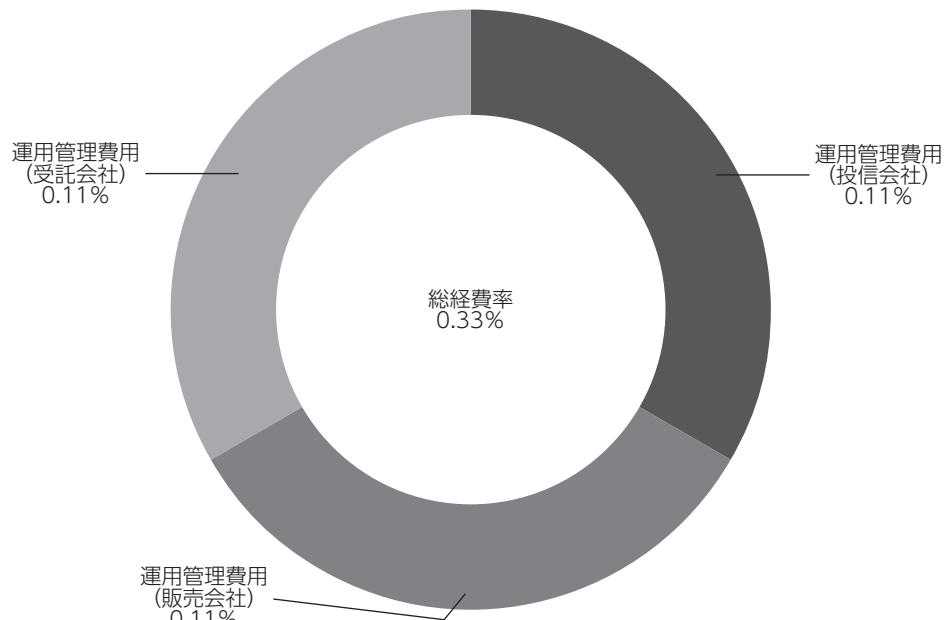
(注2) 金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入しています。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

## (参考情報)

### ◆総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は0.33%です。



(注1) 1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

## ■親投資信託受益証券の設定、解約状況（2025年3月26日から2025年9月25日まで）

	設 定		解 約	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
国内短期公社債マザーファンド	千口 －	千円 －	千口 943	千円 952

## ■利害関係人との取引状況等（2025年3月26日から2025年9月25日まで）

期中の利害関係人との取引等はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

## ■自社による当ファンドの設定・解約状況

期首残高（元本）	当期設定元本	当期解約元本	期末残高（元本）	取引の理由
百万円 1	百万円 －	百万円 1	百万円 －	当初設定時又は当初運用時における取得の処分

## ■組入資産の明細

償還時における有価証券の組入れはありません。前期末の組入れは以下の通りでした。

### 親投資信託残高

	期 首（前期末）	
	□ 数	千口
国 内 短 期 公 社 債 マ ザ ー フ ァ ン ド		943

## ■投資信託財産の構成

2025年9月25日現在

項 目	償 還 時	
	評 価 額	比 率
コール・ローン等、その他	千円 997	% 100.0
投資信託財産総額	997	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨ててあります。%は、小数点第2位を四捨五入しています。

## ■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2025年9月25日)現在

項 目	償 還 時
(A) 資 産 コール・ローン等	997,977円 997,965
未 収 利 息	12
(B) 負 債 未 払 信 託 報 酬	1,665 1,665
(C) 純 資 産 総 額(A-B)	996,312
元 本	1,000,000
償 還 差 損 益 金	△3,688
(D) 受 益 權 総 口 数 1万口当たり償還価額(C/D)	1,000,000口 9,963円12銭

(注) 期首における元本額は1,000,000円、当期中における追加設定元本額は0円、同解約元本額は0円です。

## ■損益の状況

当期 自2025年3月26日 至2025年9月25日

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益 受 取 利 息	120円 120
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益 売 買 益	1,698 1,698
(C) 信 託 報 酬 等	△1,665
(D) 当 期 損 益 金(A+B+C)	153
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	△3,015
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金 (配 当 等 相 當 額) (売 買 損 益 相 當 額)	△826 (18,596) (△19,422)
(G) 合 計(D+E+F) 償 還 差 損 益 金(G)	△3,688 △3,688

(注1) (C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注2) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

## ■投資信託財産運用総括表

信託期間	投資信託契約締結日	2010年10月8日		投資信託契約終了時の状況	
	投資信託契約終了日	2025年9月25日		資産総額	997,977円
区分	投資信託契約締結当初	投資信託契約終了時	差引増減又は追加信託	負債総額	1,665円
受益権口数	1,000,000口	1,000,000口	一口	純資産総額	996,312円
元本額	1,000,000円	1,000,000円	一円	受益権口数	1,000,000口
毎計算期末の状況					

計算期	元本額	純資産総額	基準価額	1万口当たり分配金	
				金額	分配率
第1期	1,000,000円	1,000,274円	10,003円	0円	0.00%
第2期	30,827,708	30,843,950	10,005	0	0.00
第3期	12,828,329	12,838,998	10,008	0	0.00
第4期	1,000,000	1,002,023	10,020	0	0.00
第5期	2,093,604	2,098,377	10,023	0	0.00
第6期	11,298,843	11,323,885	10,022	0	0.00
第7期	11,298,843	11,326,228	10,024	0	0.00
第8期	11,298,843	11,324,591	10,023	0	0.00
第9期	11,802,735	11,823,817	10,018	0	0.00
第10期	4,138,537	4,145,890	10,018	0	0.00
第11期	1,000,000	1,001,376	10,014	0	0.00
第12期	1,000,000	1,001,131	10,011	0	0.00
第13期	1,000,000	1,000,797	10,008	0	0.00
第14期	1,000,000	1,000,278	10,003	0	0.00
第15期	1,000,000	999,755	9,998	0	0.00
第16期	1,000,000	999,142	9,991	0	0.00
第17期	1,000,000	998,337	9,983	0	0.00
第18期	1,000,000	997,817	9,978	0	0.00
第19期	1,000,000	997,729	9,977	0	0.00
第20期	1,000,000	997,451	9,975	0	0.00
第21期	1,000,000	997,270	9,973	0	0.00
第22期	1,000,000	996,990	9,970	0	0.00
第23期	1,000,000	996,811	9,968	0	0.00
第24期	1,000,000	996,526	9,965	0	0.00
第25期	1,000,000	996,152	9,962	0	0.00
第26期	1,000,000	995,874	9,959	0	0.00
第27期	1,620,157	1,613,118	9,957	0	0.00
第28期	1,000,000	995,772	9,958	0	0.00
第29期	1,000,000	996,159	9,962	0	0.00

## 償還金のお知らせ

1万口当たり償還金（税引前）	9,963円12銭
----------------	-----------

### 償還乗換えの優遇措置の適用について

当ファンドの償還金をもって他の証券投資信託をお求めになる場合には、購入時手数料のうち所定の額を返戻または割引く措置の適用を受けられる場合があります。優遇措置の適用は販売会社によって異なりますので、詳しくは販売会社までお問い合わせ下さい。

### 《お知らせ》

#### 約款変更のお知らせ

■当ファンドおよび当ファンドが投資対象とする「国内短期公社債マザーファンド」において、投資信託及び投資法人に関する法律第14条の改正に伴い、「運用報告書の交付」を「運用状況にかかる情報の提供」に変更しました。  
(2025年4月1日)

2023年11月に「投資信託及び投資法人に関する法律」の一部改正が行われ、交付運用報告書については書面交付を原則としていた規定が変更されました。本件により、デジタル化の推進を通じて顧客の利便性向上を図るとともに、ペーパーレス化による地球環境の保全など、サステナビリティへの貢献に繋がるものと捉えております。今後も顧客本位の業務運営を確保しつつ、電磁的方法での情報提供を進めてまいります。

■当ファンドが投資対象とする「国内短期公社債マザーファンド」において、新NISA制度の成長投資枠の要件に沿った表記に改めるため、デリバティブの使用目的を明確化しました。

(2025年6月18日)

# 国内短期公社債マザーファンド

## 運用報告書

第16期 (決算日 2024年10月31日)  
(計算期間 2023年11月1日～2024年10月31日)

国内短期公社債マザーファンドの第16期の運用状況をご報告申し上げます。

当ファンドの仕組みは次の通りです。

信託期間	原則、無期限です。
運用方針	主として本邦通貨建ての公社債に投資することにより、安定した収益の確保を目指した運用を行います。
主要投資対象	本邦通貨建ての公社債を主要投資対象とします。
主な組入制限	株式への投資は行いません。外貨建資産への投資は行いません。

### ■最近3期の運用実績

決算期	基準価額			債組入比率	債先物比率	純総資産額
		期騰	中落			
14期(2022年10月31日)	円 10,066	% △0.0		% —	% —	百万円 178
15期(2023年10月31日)	10,064	△0.0		62.5	—	176
16期(2024年10月31日)	10,069	0.0		61.1	—	163

(注1) 債券先物比率は、買建比率－売建比率です。

(注2) 当ファンドのコンセプトに適した指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を定めておりません。

(注3) △(白三角)はマイナスを意味しています(以下同じ)。

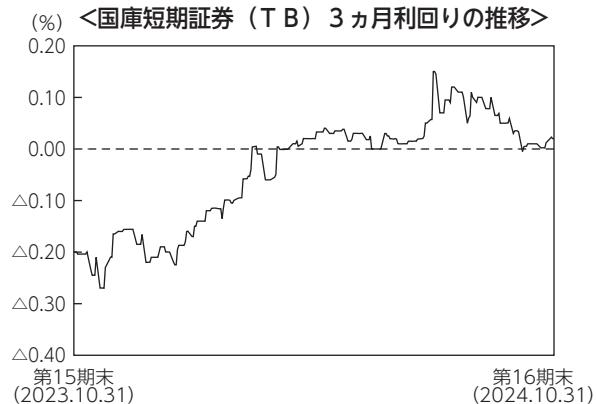
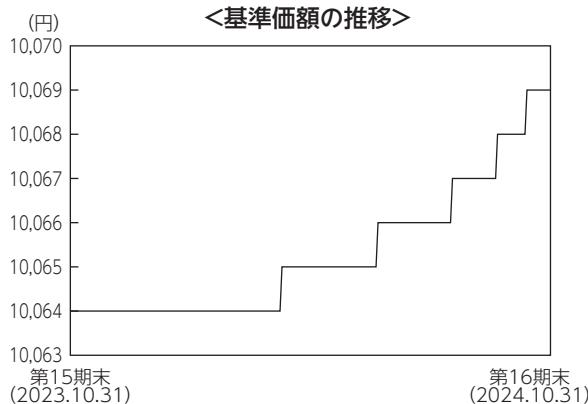
■当期中の基準価額の推移

年 月 日	基 準 価 額	債券率			債券率		
		騰	落	率	組	入	比
(期 首) 2023年10月31日	円 10,064		%	—		%	—
11 月 末	10,064		0.0		45.3		—
12 月 末	10,064		0.0		45.3		—
2024年 1 月 末	10,064		0.0		45.2		—
2 月 末	10,064		0.0		5.7		—
3 月 末	10,064		0.0		33.9		—
4 月 末	10,065		0.0		62.2		—
5 月 末	10,065		0.0		62.4		—
6 月 末	10,066		0.0		62.4		—
7 月 末	10,066		0.0		62.4		—
8 月 末	10,067		0.0		62.4		—
9 月 末	10,068		0.0		57.0		—
(期 末) 2024年10月31日	10,069		0.0		61.1		—

(注1) 謄落率は期首比です。

(注2) 債券先物比率は、貢建比率－売建比率です。

## ■当期の運用経過（2023年11月1日から2024年10月31日まで）



※国庫短期証券 (T B) 3ヵ月利回りの低下は価格の上昇を示し、逆の場合は下落したことを示します。

### 基準価額の推移

当ファンドの基準価額は1万口あたり10,069円となり、前期末の同10,064円から0.05%上昇しました。

### 基準価額の主な変動要因

保有債券の価格下落などのマイナス要因はありましたが、保有債券の利息収入などがプラスに影響し、前期末比で基準価額は上昇しました。

### 投資環境

国内短期金融市場では、3ヵ月国庫短期証券利回りは日銀がマイナス金利政策を含む大規模な金融緩和政策を継続した影響によりマイナス圏で推移しましたが、2024年3月に日銀がマイナス金利政策を解除し、さらに7月に政策金利を0.25%に引き上げたことから同利回りはプラス圏に上昇しました。

### ポートフォリオについて

残存期間の短い国債や地方債などで運用を行いました。

### 今後の運用方針

日銀は2024年10月の金融政策決定会合で、政策金利を0.25%とする金融政策を維持しました。日銀は今後政策金利の引き上げを行うと見られますが、そのペースは緩やかなものになると想定され、金利は引き続き安定的に推移することが見込まれます。そのため、今後も公社債などへの投資を通じて、安定的な運用を目指します。

## ■1万口当たりの費用明細

計算期間中に発生した費用はありません。

## ■売買及び取引の状況 (2023年11月1日から2024年10月31日まで)

公社債

		買付額	売付額
国内	国債証券	千円 199,884	千円 -(100,000)
	地方債証券	-	-(110,000)

(注1) 金額は受渡代金です（経過利子分は含まれておりません）。

(注2) ( ) 内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

## ■利害関係人との取引状況等 (2023年11月1日から2024年10月31日まで)

期中の利害関係人との取引等はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

## ■組入資産の明細

公社債

### (A) 債券種類別開示

国内 (邦貨建) 公社債

区分	当期末						
	額面金額	評価額	組入比率	うちBB格以下組入比率	残存期間別	組入比率	
	千円	千円	%	%	5年以上	2年以上	2年末満
国債証券	100,000	99,911	61.1	—	—	—	61.1
合計	100,000	99,911	61.1	—	—	—	61.1

(注) 組入比率は、期末の純資産総額に対する評価額の比率であり、小数点第2位を四捨五入しています。

(B) 個別銘柄開示

国内（邦貨建）公社債銘柄別

銘 柄	当 期				末
	利 率	額 面 金 額	評 価 額	償 還 年 月 日	
(国債証券)	%	千円	千円		
443回 利付国庫債券（2年）	0.0050	50,000	49,998	2024/12/01	
452回 利付国庫債券（2年）	0.0050	50,000	49,913	2025/09/01	
合 計	—	100,000	99,911	—	

■投資信託財産の構成

2024年10月31日現在

項 目	当 期		末
	評 価 額	比 率	%
公 社 債	千円	61.1	
コール・ローン等、その他	99,911	38.9	
投 資 信 託 財 産 総 額	163,580	100.0	

(注) 評価額の単位未満は切捨ててあります。%は、小数点第2位を四捨五入しています。

## ■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2024年10月31日)現在

項目	当期末
(A) 資産	163,580,612円
コール・ローン等	63,667,753
国債証券(評価額)	99,911,567
未収利息	1,128
前払費用	164
(B) 負債	—
(C) 純資産額(A-B)	163,580,612
元本	162,454,050
次期繰越損益金	1,126,562
(D) 受益権総口数	162,454,050口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,069円

(注1) 期首元本額	175,232,326円
追加設定元本額	606,121円
一部解約元本額	13,384,397円
(注2) 期末における元本の内訳	
フロンティア・ワールド・インカム・ファンド	99,744,150円
ハイブリッド証券ファンド円コース	27,208,015円
ハイブリッド証券ファンド米ドルコース	3,391,713円
ハイブリッド証券ファンド豪ドルコース	4,489,701円
ハイブリッド証券ファンドブラジルレアルコース	16,175,679円
ハイブリッド証券ファンドマネープールファンド	955,242円
新光グローバル・ハイイールド債券ファンド円コース	1,392,481円
新光グローバル・ハイイールド債券ファンド米ドルコース	99,759円
新光グローバル・ハイイールド債券ファンド豪ドルコース	1,193,555円
新光グローバル・ハイイールド債券ファンドブラジルレアルコース	6,365,626円
新光グローバル・ハイイールド債券ファンドマネープールファンド	943,161円
フロンティア・ワールド・インカム・ファンド(年1回決算型)	494,968円
期末元本合計	162,454,050円

## ■損益の状況

当期 自2023年11月1日 至2024年10月31日

項目	当期
(A) 受取利息等収益	272,378円
受取利息	275,685
支払利息	△3,307
(B) 有価証券売買損益	△182,396
売買益	22,705
売買損	△205,101
(C) 当期損益金(A+B)	89,982
(D) 前期繰越損益金	1,123,512
(E) 解約差損益金	△90,811
(F) 追加信託差損益金	3,879
(G) 合計(C+D+E+F)	1,126,562
次期繰越損益金(G)	1,126,562

(注1) (B)有価証券売買損益は期末の評価換算によるものを含みます。

(注2) (E)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

(注3) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。